

西南学院大学 図書館報

新入生ガイダンス特集

大学生としての読書のあり方…沢野直紀	2
図書館の上手な利用法…石橋直子・西山博文	3
欲しい一冊を見つけるには? ……………	4
こんな本も図書館にあります……………	5
国連寄託図書館紹介……………	6
大学図書館は楽しいか……………篠崎 珣	7
お知らせ・報告……………	8



実存哲学と神の沈黙

—新入生を迎えて—

図書館長 川島信義

(1)

「この記録の主題をなす奇異な事件は、194*年、オランの街に起こった。…4月16日の朝、医師リウーは診療室から出かけようとして、階段口で一匹の死んだ鼠につまづいた」。

工場や倉庫、学校や公園、街路そして民家の出入口など市中いたるところで、毎日、あるいは鼻に血の泡をふき、あるいは膨れ上って腐りかけた幾百、幾千の死んだ鼠が吐き出された。それとともに恐るべき疫病が全市に蔓延し始めた。39度を超す高熱、紫黒色の斑点、頸部や鼠蹊部などリンパ腺の化膿と出血、そして襲う激痛。僅か数日の間に、死者は激増していった。市中を駆けめぐる屍体運搬車の群。荒れ狂う病魔と闘う医師リウー、ほかの人々。その努力も空しく、この幼な子も高熱に喘ぎ死んでいった。

「全くあの子だけは、少なくとも罪のないものでした。それはあなたもご存知のはずです」とリウーはタルーに言った。「とにかくこの世の秩序が死によって律しられている以上は、恐らく神にとって人々が自分を信じてくれない方がよいかもしいんです。そうしてあらん限りの力で死と闘った方がいいんです。神が黙っている天上の世界に目を向けたりしないで」。

第2次世界大戦後まもなく、私が教養課程の学生であった頃、アルベール・カミュはその小説『ペスト』を世に問うた。不条理の世界に生きる人間の問題を、一つの限界状況において提起したその実存哲学は、当時ドストエフスキー

の小説に大きな影響をうけていた私に、一つのおおきな衝撃をあたえるものであった。

(2)

新入生の諸君、入学おめでとう。大学生としての新しい生活が始まる。それは、受験勉強にいわば支配されてきたこれまでの受身の勉強から、主体的な学問への転換の時でもある。真理が、真理のゆえに愛されねばならぬ。学問とは何か。そもそも、生きることの意味とは何なのか。人文、社会、いずれの学問も、つまりはここにその原点をおいている。人類の偉大な思想家たちが世に問うた万巻の書物の多くも、じつはこの重要課題に直接間接、答えるものであったといってよい。大学図書館はそうした数々の優れた書物を擁して、その利用を心から待っている。

(3)

「なるほど」とタルーは言った。「いわれる意味はわかります。しかしあなたの勝利は常に一時的なものです。そうすると、このペストは、あなたにとって果して何なのか」。

「ええそうです」とリウーはいった。「際限なく続く敗北です」。

不条理の世界。そこに生きる人間の実存と「敗北」。そして「神の沈黙」。人間が生きることの意味とは、それでは一体何だろう。『ペスト』は私に、はげしくその問題をなげかけたのである。

(かわしま のぶよし：経済学部教授)

新入生ガイダンス特集



大学生としての読書のあり方

法学部教授 沢野直紀

今は亡き大学時代の恩師が卒業前の最後の授業において、「諸君、大学を卒業して社会に出ても本を読み続けたまえ。10年後、20年後には本を読まなくなった人との間に大きな差が出てくるだろう」と述べられたが、読書の重要性を説いたものとして記憶に残っている。

人間が動物とちがう最大の点は、やはり知性や理性を持っていることだと思う。人間が動物的本能の充足だけを目的に生活することは、それもひとつの生き方であるが、動物と変わりがなくなることはない。この人間に特有な知性や理性を訓練し開発し、より高度に発展させるのに最も効果的な手段は本を読むことである。もちろん、知識や考える素材は、諸君の好きな映像や音声からも得られるし、耳学問も相当程度可能である。しかし、それらは、人間の感性に訴える面が強い上に、より複雑な知識や思想を体系的に表現するのに適しているとは言えず、書物という表現手段には及ばない。ニュースや情報を例にとっても、その要点はテレビやラジオで得られるが、原因や背景その他より深いものを知るためには新聞や雑誌が必要になってくる。人類がその何千年の歴史において、考えたこと、思ったこと、その営みの大部分は書物の中に記されているといつてよいだろう。

さて、出ては消えてゆく書物の氾濫の中で、何を読むかの選択はむずかしいが、教授の推せんする図書や今話題になっている本でもよいし、図書館の書架で偶然に出会った本でもよいだろう。とにかく読み始めることが大切である。手

当たり次第の乱読もよいし、私などもよく経験するつん読（机上につんでおくだけで読まないこと）にもそれなりの意味があり、できれば、定期的に本を買ったり借りたりして欲しい。ただし、大学生としては、組織立った系統的な読書がより効果的で、望ましいと思う。何か自分が興味を持つ対象やテーマが見つければ、それに関する書物を次々と読んでゆくことである。おそらく、知識は着実に増え、新しい世界が広がってゆくだろう。なお、テーマをあまり狭く限定しないこと、時々、テーマを変えてゆくことも必要である。読み方としては、書いてあることや他人の意見をうのみにしないで考えながら読むことである。本を読むのは、教授や批評家ではなく、君達自身なのだから、自分の感想や疑問を大切にしたい。ある程度努力してどうしても面白くなければ途中で投げ出してもよいだろう。

私の大学時代に、読んだ本とその簡単な感想を書きとめる読書ノートを作っていた友人がいた。NHKの採用試験に役立ったようだが、自分の知的成長の記録になるし、何よりも読書の意欲をかきたてる促進剤になったと言っていた。

大学生の活字離れが著しいときに、読書のすすめを説く空しさは避けられないが、今まで本を読まなかった人も受験勉強から解放された今が本を読み始めるひとつの好機である。この拙文を読んで、たとえひとりでも本に親しむようになってくれば、嬉しいかぎりである。

(さわの なおき：商法・金融法)

新入生ガイダンス特集

図書館の上手な利用法

文学部英文学科4年

石橋直子

これまでの私の図書館の利用の仕方を振り返ってみましたが、新入生みなさんにお勧めできるような、そんな実利的な方法が見当たりません。しかし、こんな私でも言えることは、十人十色、個人個人図書館とのつきあい方があるということです。「つきあい方」としたのも、図書館を利用するというよりも、図書館とつきあってみてほしいと願っているからです。

私の図書館とのつきあい方の基本は、「気の向くまま」です。そして、図書館に収められている本を自分の蔵書のごとく考えています。自分の家では、あの膨大な量の図書を保管することは不可能なので、図書館に預かってもらっている位に思っているのです。そんな気安さが、私に図書館へと足を運ばせます。そこで、私は五十万分の一の本を選択します。この一冊の本との出会いを私は大切に思うのです。

何かを求めて図書館へ行けば、図書館は必ずそれに応えてくれるだろうし、また、何の気なしに図書館へ行っても、図書館は何かを与えてくれると思います。はじめから敬遠することなく、気軽に利用なさることをお勧めします。きっと、新しい発見や刺激があると思います。では、自己流のつきあい方を見つけてください。

(いしばし なおこ)

経済学部経済学科4年

西山博文

しばしば充実した図書施設は世界の歴史を変えて来た。ナポレオン・ボナパルトにアウステルリッツの三帝会戦をはじめ幾多の輝かしい勝利がもたらされたのは、彼がフランス各地の図書施設を徹底利用して古今東西の戦史を読破したからである。また、1917年以降の世界地図を塗り替える遠因となったカール・マルクスの資本論は、ブリティッシュ・ミュージアムの膨大な経済学の資料が産み出したと言っても過言ではない。

上記の事例が示唆する所は、他に隔絶した良質の情報を数多く収集し、分析・整理することは、それだけで一つの大きな力を有することである。図書館には種々の膨大な情報が集積されている訳だが、その情報量の多さに圧倒され、振り廻されてはならないのであって、逆に自分が情報を使いこなす側に立つことを心掛けるべきである。集積された情報を自在に駆使できるかどうかの可否は、偏に自分の必要とする情報がどこにどれだけ存在するのか素早く検索できるかと言う一事にかかっている。具体的には、①「日本書籍総目録」等の書籍目録の活用、②図書館三階の図書検索カードの利用、③カウンターの係の方への相談、と言うことになるだろうか。あくまでも情報の活用と言う限られた一面に話を限定した上での図書館利用の助言としては、上記三点と、「各位の創意工夫を」と言うことに尽きるように思われる。

(にしやま ひろぶみ)

新入生ガイダンス特集

欲しい一冊を見つけるには？

— 目録カードの利用法 —

現在図書館には約51万冊という膨大な資料群が存在しています。その資料群の中から自分の欲しい一冊を見つけるのは容易なことではありませんが、賢明な方法があります。

それは目録カード検索という方法です。現在図書館は開架閲覧室と閉架書庫「CLOSED」に分かれていますし、貸出中や修理中である本は、開架閲覧室へ行っても直接には探せません。そのため目録カードが用意されています。現在、目録カードには著者名、書名、分類（主題別）の各カードがあり、迅速かつ容易に欲しい本にアプローチできるようになっています。

著者名目録

求める本の著者がわかっている場合やある著者の著作物群を探そうと思うとき使用します。

著者名カードの配列順は〈図1〉のように姓を配列単位として、次に同じ姓の中を名で配列（語順配列）し、それをローマ字（ヘボン式）化したものをアルファベット順に配列しています。また同一著者の著作物がある場合、〈図2〉のように同一著者の中での書名のアルファベット順に配列しています。

(注) 個人名：姓・名の語順配列

団体名：正式名称

(例) NHK⇒Nihon(Nippon) hōsō kyōkai

中国・朝鮮人名：日本語よみ

(例) 金日成⇒Kin, Nissei

西洋人名：サーネームが先にくる

(例) William, Shakespeare

⇒Shakespeare, William

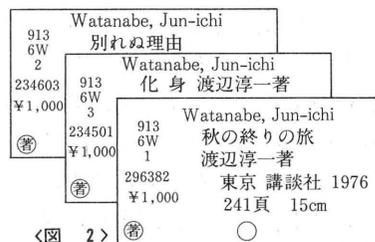
講座・大系等の時や著者が4人以上の場合
は書名標目となっています。

清音でないときは、濁音でも探して下さい。

(例) Takata⇒Takada



〈図 1〉



〈図 2〉

書名目録

書名ははっきりわかっているが、著者が分からない時や、多数著者のいる単行本、全集、講座などを探す時は、書名カードを検索して下さい。書名カードの配列順は書名全体を配列単位（字順配列）とし、ローマ字（ヘボン式）化したアルファベット順に配列しています〈図3〉。また同一書名の場合は、著者名のアルファベット順に配列しています。



〈図 3〉

分類目録

図書の内容や形式によって、日本十進分類法(N.D.C.)によって学問分野別に体系的に配列されていて、特定の主題や関連主題を調べたい時に検索する目録カードです<図4>。

(例) 物権法に関して調べたい時は324.2の分類を調べると著者や書名がわからなくても求める本が探せます。

N.D.C.は西南学院大学図書館利用案内を参照するか、解らない場合は閲覧カウンターで尋ねて下さい。



<図 4>

以上のような手順で目録カードを利用して検索すると欲しい1冊が自分で見つけられ、図書館利用もスムーズに進み、フルに活用できると思います。

(大羽康二：整理課と漢書分類係)

.....

こんな本も図書館にあります

「大学図書館」ってどんなところ？——「堅い」「専門書が多い」というイメージをもっていませんか。しかし、意外に気軽に読める本や雑誌もたくさんありますので、ここではそのごく一部をご紹介します。

◆2階開架閲覧室（一般教育関係図書）

まず、入ってすぐ右側には「ベストセラーズコーナー」があります。ここには最近のベストセラーや話題になった本、人気作家の著書、皆さんに読んで貰いたい本などを集めています。学生には大変人気のあるコーナーです。

そして、向かいの雑誌書架には「文芸春秋」「るるぶ」「モーターファン」、さらには「シティ情報ふくおか」など、いろいろなジャンルの雑誌を置いてありますので、学習の合間に見るだけでなく、これらを目当てでも結構ですから、どうぞ自由に閲覧してください。

また、分類番号 910番代には、夏目漱石や芥川龍之介などの有名作家の著作集や最近の著名作家の作品もたくさん揃えています。

◆3階開架閲覧室（商・経済・児教関係図書）

右手奥には「美術書の大型本」がありますので、世界や日本の著名な絵画や美術品を眺めて、

目と心と教養を養ってはいかがでしょう。また、この階にはたくさんの絵本がありますし、909番代には「ピーターラビット」や「ブルーナ」などの絵本もあります。時には昔を思い出しながら見るのも一興でしょう。

なお、「アイアコッカ」などの経営者の自叙伝もこの階にあります。

◆4階開架閲覧室（文・法学関係図書）

この階には、英米・仏文学と法学関係さらに留学生別科コーナーがあります。

外国語が苦手な人は、漫画「Charlie Brown & Snoopy」（英語）はどうでしょう。絵を見るだけでも楽しく、何となくわかったような気になります。もちろん辞書を引ながらなら大いに結構。あなたの語学力は大いにアップするかも知れません。もし、あなたが英語に少し興味があるなら、「English Journal」「Time」などの雑誌にも目を通してください。また、ペーパーボックスもぜひどうぞ。

なお、NHK取材班の「日本の条件」シリーズは学部に関係なく楽しめます。

そして、時には留学生別科コーナーを覗いて日本語教育や外国人のための本や雑誌に目を通

しておくことは、国際化への視野を広める半歩ぐらいにはなるでしょう。

◆ **CLOSED** (書庫・閉架図書室)

クローズ書庫にも手軽な本として 090番代の岩波文庫・新書、講談社文庫、保育社カラーブックス、さらにQの記号のついた文庫クセジュなどがあります。希望者は、目録を引いて閲覧

カウンターに申し出てください。

さあ、今日から大学生活のひとつを図書館で過ごす習慣を身につけましょう。図書館での1冊の本や雑誌との出会いが、あなたの人生に大きな変化を与えることになるかも知れません。

(田代二三生：整理課課長補佐)



国連寄託図書館紹介



本学図書館の一階には、国連寄託図書館という専門図書館があります。全国でも数少ない国際機関資料センターで、貴重な資料を収集していますので、ぜひ一度覗いてみてください。なお、概要は次のとおりですが、詳細については国連寄託図書館事務室にお尋ねください。

Q. 国連寄託図書館とは何ですか？

国連寄託図書館とは、国連が各国の公的図書館に国連の刊行する資料を寄託して、常時一般に無料公開しているところです。日本には現在12館あります。

また本学には、EC委員会から欧州統合関係文献専門の資料館として援助されているEC資料センター(EDC)も併置しています。日本では寄託図書館も含めて18館あります。

また、OECDの協力資料館にもなっています。

Q. どんな資料があるのですか？

世界で活躍している国際機関・国連・ECやOECDの資料を収集しており、そのなかには、よく新聞・ニュースでとりあげられるアファン問題、人権問題、日本とECの経済摩擦に関する資料があります。特に、その問題について討議された会議の議事録は、新聞には出てこない審議内容まで載っており、生の情報を自分の手にとって見ることが出来ます。

なお、資料は国連関係が1968年から、またEC・OECD関係が1969年から受け入れています。

Q. 開館時間は何時ですか？

開館時間は、平日9時から16時までです。なお、土曜日および第一水曜日は、12時に閉館します。

Q. 利用者の資格は？

広く一般の成人(大学生を含む)が利用できます。

Q. 利用方法はどのようなになっていますか？

資料の利用を希望する人は、所属機関の長が発行する身分証明書(学生証)または身分を証明するもの(免許証等)を提示し、利用者登録カードに記入する必要があります。

Q. 貸出はできますか？

資料の館外貸出は、通常行なっていませんが、特に希望される方は、館長の許可を得て、一定の手続きをとれば、貸出を受けることができます。

なお、貸出冊数は5冊、期間は1か月です。ただし、一部貸出できない資料があります。

(古庄敬文：情報サービス課国連係)



新入生の皆さんへ

大学図書館は楽しいか

<50万分の？冊>

情報サービス課長 篠崎 珣

関西大学 (23,000名) 160万冊、同志社大学 (20,000名) 130万冊、関西学院大学 (16,000名) 83万冊、福岡大学 (21,000名) 90万冊、西南学院大学 (7,200名) 50万冊。中学、高校図書館のイメージが強い人は、その数だけで驚いてしまうことでしょう。なぜ、大学図書館の蔵書数はこんなに多いのでしょうか。それは、高校までの図書活動がいわゆる“読書”中心であったのに対し、大学では研究、教育、学習の援助を第一の目的としていて、各学問分野ごとに相当数の学術書を備えるようになっているからです。ですから、学部学科の数や学生数が多ければ多いほど、それに比例して蔵書数が膨大な数になり、図書館が図書館となって、独立した研究施設になっていくわけです。

高校時代まで、図書館に足繁く通った人にとっては、その使い方がどうであれ、大学図書館のふんい気にもすぐに慣れ、逆に、図書室に縁が薄かった人にとっては、益々楽しくなく、疎遠になってしまうかもしれませんね。でも、あれだけ努力して待望(?)の大学に入学した諸君は図書館を避けて大学生活を送ることができますか。私の答は「ノー」です。

さて、これらの膨大な図書の中から、諸君は“楽しい”図書を選択し、読んでいかなければなりません。ただしこれらの図書の中で、諸君が自由に手にすることのできるものは限られ

ています。しかも、専攻に関係する図書となればもっと少ない。とはいえ、大切なことは、“図書の質”ということになりますね。

講義を担当する先生から講義の予復習の必読書として精読を勧められる指定図書、関連する学術図書、これらは楽しいでしょうか。金田一耕助も登場しなければコロンボも登場しない。殺人もなければ血の抗争もない。前奏もテーマソングも挿入曲もない。音と映像世代にとって大学図書館の図書とは、何と退屈なものでしょうか。

学術図書は真理を説くものです。小説のような面白みはないかもしれませんが、筋はちゃんとありますよ。論旨とでも言いましょうか。学術図書をひもとく諸君が、論旨が分かるまで一語一語、一節一節、繰り返し繰り返し、少しずつ解き明かし、理解を深めてゆくことに費やす時間というものは、本当に長いかもしれませんが、半面有意義な時の流れだとは思いませんか。“楽しい”と言え、そこに大学に学ぶ者としての楽しみ—喜びがあるとは思えられませんか。

大学図書館で諸君が読破できる図書の数はほんの僅かであっても、精魂こめて読んでみてください。きっと得るところがあるはずですよ。

中国の朱熹 (1137~1200年) は「読書千遍その義自ら見ゆる」と言っています。

(しのぎき じゅん：情報サービス課長)

お知らせ

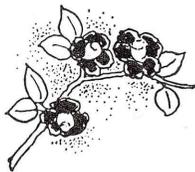
平成元年度 図書館行事予定表

5月11日(木) 学院創立記念日のため休館
 7月1日(土) 夏季長期貸出開始(9月18日まで)
 11日(火)～9月5日(火) 夏季休暇
 休暇中学習室閉室
 9月9日(土)～9月28日(木) 前期試験
 29日(金)、30日(土) 大学休業のため休館
 11月中旬 大学祭期間中学習室閉室
 12月16日(土) 冬季長期貸出開始(1月18日まで)
 25日(月)～1月6日(土) 冬季休暇
 休暇中学習室閉室
 25日(月) クリスマス休館
 26日(火) 開館9:00～21:00
 27日(水) " 9:00～12:00
 28日(木)～1月5日(金) 年末年始の休館

平成2年

1月6日(土)より開館
 19日(金)～2月3日(土) 後期試験
 25日(木) 春季長期貸出開始
 (卒業予定者は2月末日まで)
 (上記以外は4月22日まで)
 2月5日(月)～春季休暇
 休暇中学習室閉室
 中旬 入学試験のため休館
 3月中旬 在庫調査のため開架閲覧室
 閉室

休館・閉館その他行事予定については、
 そのつど、図書館の玄関に掲示します。



☆ 報 告 ☆

〈図書館用コンピュータの導入〉

去る2月20日、図書館専用のコンピュータを導入した。機種は日立製作所のHITAC M-630/10。現在、平成元年4月からの図書発注・受入・整理業務などの一部稼働及び平成3年度以降のトータルシステム全面稼働を目標に鋭意準備中である。なお、この一環として、整理・情報サービス両課に、計16台の端末機も導入した。

〈図書バーコードラベル貼付及び在庫調査〉

図書館電算化の一環として、去る2月27日から3月17日まで、和漢書の約70%についてバーコードラベルを貼付した。今後、利用者の少ない時期を選んで、残りの和漢書、洋書にバーコードラベルを貼付する計画である。

また、3月6日から3月10日までは、本学院経理規程に則り、在庫調査を並行して行った。

〈図書館委員会〉

- 1. 2. 28 ①図書館業務の電算化について
 ②児童教育学科から申請の特別雑誌費について、
 ③平成元年度私大助成の申請について

〈人事異動〉

平成元年3月31日付
 退職 田中朋子 (整理課)
 平成元年4月1日付
 任用 山本麻衣子 (整理課)
 課長補佐に昇任 伊藤邦厚 (整理課)
 係長に昇任 坂口久人 (整理課)

※ 編集後記 ※

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。入学されてやがて1か月になりますが、大学生活には慣れましたか。そして図書館はもう利用されましたか。

今回は、主に新入生の皆さんを対象として編集しました。これからの図書館利用の一助となれば幸いです。
 (T・F)